



川之江城から望むひうち灘

川之江城

2023.01.25
四国中央市

川之江城は南北朝時代に築かれた歴史ある平山城である。かつて交通の要衝であった川之江の玄関口として、招かれざる者を拒むかのように断崖絶壁にそびえ立っていた。重要な要塞であったため、長年にわたり戦が行われた。城主 かわかみたまのかみ 河上但馬守の息女が海に身を投げたとされる「ひめがたけ 姫ヶ嶽」の伝説もこのときに起きた悲劇である。江戸時代初期に廃城となったが、昭和61年(1986)に現在の天守が建築され、その歴史を受け継いできた。現在は地域住民の憩いの場としても利用され、山頂から川之江の街を静かに見守っている。